



高山日赤分だより 第4号

令和8年7月17日 飛騨特別支援学校高山日赤分校

ホーム
ページ
です！



今年は梅雨入りの後も比較的過ごしやすい天気が続いていましたが、7月に入るとWBG Tが厳重警戒レベルに達するなど、一転して厳しい夏が到来しました。猛暑のため校外での活動が禁止される中でも、子どもたちは校舎内で水や氷に触れたり、七夕まつりを楽しんだりして、暑さに負けない元気な姿を見せています。

この1学期は環境が変わって不安や戸惑いがあったはずですが、子どもたちは柔軟に適應して、仲間との絆を深めてくれました。また、新しいことに積極的にチャレンジして、一人ひとりが着実に成長を遂げたことを、心から称えたいと思います。保護者の皆さまには、温かい目で当校の教育活動を支援していただき、本当にありがとうございました。

明日から夏休みに入ります。しっかり休んでエネルギーを蓄えていただき、始業式には元気な笑顔で登校してくれることを願っています。



分校ならではの縦割り活動



小・中・高の子どもたちが一緒になって行う交流活動は、分校でなければできないことです。6月から7月にかけて、縦割りの3つのグループに分かれての活動を、4回実施しました。回を重ねるごとに活動内容が充実して、子どもたちの一体感が感じられました。仲間意識がさらに高まり、「みんなのいろ」が輝きを増していくことを期待します！



高校生との交流

6月に中学部生徒2名が、飛騨高山高等学校山田キャンパスでリンゴの摘果作業を体験してきました。果樹園で土の感触と草の匂いを感じながら、高校生の皆さんと一緒に、ハサミを使って小さな実を摘み取りました。10月には育ったリンゴを収穫する予定です。



7月には飛騨高山高校岡本キャンパスから生活デザイン科の生徒が見学に来てくれました。3年生の課題研究の授業で、二次調理をテーマに選んだ生徒の皆さんが、実際の調理の様子や摂食の仕方を見て、熱心にメモを取っていました。今後、保護者の皆さまにアンケートへのご協力をお願いする予定です。その際は、よろしくお願いいたします。

